



R05.10.24 / 袋井市役所

第8回ふくろい産業イノベーション推進協議会総会

ふくろい産業
イノベーション
センター

ふくろい産業イノベーションセンター ニュースレター Vol.21

発行日：令和5年10月26日（木）

発行者：ふくろい産業イノベーションセンター事務局

イノベーション創出に向け取組を進化・深化 ～第8回「ふくろい産業イノベーション推進協議会総会」で協議～

10月24日、本センターの設置主体である「ふくろい産業イノベーション推進協議会」第8回総会が開催され、本センター取組状況等の報告を行うとともに、今後の取組方針・内容等について、熱心に協議いただきました。各委員からは、本協議会の取組方向性をはじめ、本センターの事業実績や今後の展開に向けて意見が出されたほか、協議事項（本センター下半期以降の事業展開・内容等）について、全会一致で「承認」を得ることができました。

本センターでは引き続き、短期間で「実装」「検証」「改善」を細かく繰り返す手法で、「稼ぐチカラ」を生み出す“ビジネスモデル”の創出（地域内の“困りごと”を地域内の異業種が連携して“解決”するとともに、それを通じて“価値創出”につなげていく仕組み）の構築を目指し、各種事業を展開してまいります。

【右図】本センター現状（R05.10現在）のSWOT分析

	プラス要因	マイナス要因
内部環境	強み (Strength) <ul style="list-style-type: none"> ●各メンバーの持つネットワーク、大学等の知見・技術 ●医療看護介護分野で課題解決を通じたビジネス創出の取組を実施 	弱み (Weakness) <ul style="list-style-type: none"> ●専門的知見・技術を持つメンバーが少ない、ワーカパワの不足 ●大学の持つ知見・技術と地域企業ニーズとのアンマッチ
外部環境	機会 (Opportunity) <ul style="list-style-type: none"> ●理工科大学教員の兼業解禁で大学発ベンチャー創出体制が整つ ●せしむけい看護学会を契機に医療看護分野での取組基盤が拡大 	脅威 (Threat) <ul style="list-style-type: none"> ●中小企業を取り巻く厳しい経営環境・変革の必要性（物価高騰・人手不足・E化・CNなど） ●地域企業の挑戦マインド不足
整理・分析	強み (Strength)	弱み (Weakness)
機会 (Opportunity)	<ul style="list-style-type: none"> ●看護介護分野において地域全体で課題解決する仕組みを構築 ●地域企業と大学発ベンチャーの接続で価値創出を目指す 	<ul style="list-style-type: none"> ●地域課題解決等を目指す大学発ベンチャーなど、実装につながる大学の取組を重点的に支援
脅威 (Threat)	<ul style="list-style-type: none"> ●各メンバー等のネットワークを最大限に活用し、地域企業等の挑戦・変革・共創への取組を促す（場・機会の提供など） 	<ul style="list-style-type: none"> ●他支援機関・学術機関と連携した専門性の高い企画の実施 ●外部専門人材の積極的活用による支援の実施

各委員意見要旨

●スタートアップ企業の支援・連携を通じた「イノベーション」創出を

新たな「雇用」や「イノベーション」の創出に向けて、国をはじめ、地方自治体や金融機関でも、積極的にスタートアップ企業の支援や連携に取り組んでいる。本協議会としても、スタートアップ企業とどのように関わりを持って事業を展開していくのか、しっかりと整理すること。

また、地域内で「イノベーション創出」を図るには、スタートアップ企業との連携・支援だけでなく、地域内中小企業の成長をしっかりと支援していくことも極めて重要。

●事業成果の「見える化」や「活用」が重要

本センターでは、様々な事業を展開しているが、全体の進捗が明確となるよう、資料等は“俯瞰的”かつ“視覚的”に分かりやすく整理し、まとめていくことを十分に意識されたい。特に、静岡理科大学教員の研究を促進・支援する制度である「地域研究助成金」については、大きな投資となることから、その成果について、マトリクス（実現性×進捗状況）等で現時点のポジションを明らかにするとともに、専門的な表現をできる限り避け、誰もが理解しやすいものとするなど、“見せ方”に工夫を。

また、研究の実施を通じて得られた成果のみならず、「副次的な成果」についても、他のジャンルに活用していけるよう、丁寧に整理していくことが大切。

●学生にもスポットを当てた取組を進めるべき

地域企業と連携した大学教員の研究等の取組について、大学教員だけでなく、学生も積極的に関わり、スポットが当たる仕組みとしてはどうか。学生が大学の授業や研究を通じて、地域・まちの中に入り、企業など様々な主体と交わり、“地域課題解決”に取り組む機会が持てれば、素晴らしいと考える。

また、このような仕組みとすることで、新たなビジネスへの“気づき”や“隘路の発見”の機会となり、学生自身が自らの中に「柱」をつくることや大学（学生）発ベンチャーの創出にもつながっていくのではないかと。

一方、学生が企業と事業内容で関わりを持つ場合には、「秘密保持」が求められる、といった観点を持ち、注意して進めていくことが必要。



協議会委員一覧（令和5年10月24日現在）※敬称略・順不同

協議会役職	所属	所属役職	氏名
会長・委員	袋井市	市長	大場規之
副会長・委員	静岡理科大学	学長	木村雅和
委員	袋井商工会議所	会頭	豊田浩子
委員	浅羽町商工会	会長	川上政年
委員	株式会社静岡銀行	袋井支店長	袴田幸弘
監事・委員	浜松磐田信用金庫	袋井中央支店長	伊藤光寿
委員	島田掛川信用金庫	地方創生部長	鈴木康司
委員	ふくろい産業イノベーションセンター	センター長	小笠原敦

お問い合わせ・相談窓口 ふくろい産業イノベーションセンター

〒437-8555 静岡県袋井市豊沢2200-2（静岡理科大学 やらまいか創造工学センター3階）
TEL:0538-45-0136（直通）/FAX:0538-45-0110/E-mail:shakai@sist.ac.jp